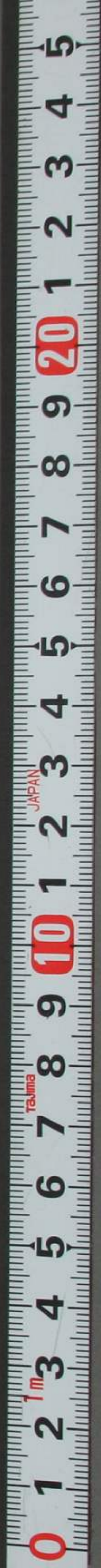




湯之峯之湯秘録

多9  
2227  
2 止





多9  
2227  
巻 2止

五十四日通



壺之事

或作壺与壺ノ字不同壺ハ宮中街ト

字書ニテリ京大坂ノ人ハ小庭ノ吏ヲ

壺ノウチト云モ壺ノ字ヲ誤リテ云テラン

一 茶ノ湯ノ時四盞半ノ床ニ壺ヲ飾リ置テハ大方ハ口切ノ  
 時欵ス丁也壺ニヨリテ常ニモ置合タル丁古書ニ見ヘタリ

一 右飾置タルヲ容所望ニテ亭主ヲロス節壺ノ肩ノ下ヲ  
 右ノ手ニテ抱左ノ手ヲ壺ノ腰ニ添少向ヘ顔ケ身ニ所抱ヘ  
 下ニ勝午只待来壺ノ肩ヲ左リノ手ニテヲ右ヘ右ノ手ニテ  
 ニ覆ノ向ノ隅ニ可ナリノ所ヲ取リ前ノ方ヘ引起表ヲ置直  
 付ニメ置取緒ヲ如鑑<sub>五</sub>ニ折<sub>ニ</sub>如<sub>此</sub>四<sub>ル</sub>口覆ノ中ヘ納置ヲ





壺ヲ最前ノ如ク抱上客ノ前ニ横ニコカシ置亭主ハ勝手  
カリ客ノ見ルヲ見ラ居ルニ壺ノ挨拶時宜相應ニ致ス  
一 容亭主コカシ置ヲ抱起相容へ一通リ挨拶亭主ハ毛熟ト  
并見致シ度挨拶シ壺ヲ抱横ニ致シ廻熟ト一覽ノ上相  
容へ遣シ申シ容亭主ハ口覆花ニ取緒所望亭主へ返シ  
其序ニ裝束ヲ好ミ見ルモ可シ

亭主勝手へ壺持入壺ノ入日記ヲ持出御望ノ茶挽  
述モノトニ上ケ可申ト云

入日記大方壺ノ筥ノ蓋ノ裏ニハリテ有小座鋪狭キ  
所へ出シ取撤モ如何ナルハ入日記ハ外ニ兼テ茶師ニ

申付奉書或ハ引合テト横折目錄紙ノ如ク折書附カセ  
置ソレヲ容ニ見ルト筥ニ但筥ノ蓋ニ茶壺由緒ナトノ  
有ラ亭主持出ル各別ノ下ニ

一 容入日記見候テ初昔ハ御珍客ノ為メニ御残し置後昔  
御挽セ候ヘト申時宜挨拶アリ主客ノ様子次第ニ  
容三四アナレハ右ノ壺口切テ挽セ候ハ中立ノ間マテニ茶  
挽出来ルモノニ猶口傳

一 入日記口覆取緒花ニ亭主へ返進ス亭主ハ壺ヲ容ノ  
見仕舞テ炭取持出常ノ如ク炭致ス  
昔ハ客ノミル前ニテ口ヲ切ハ得凡諸事手廻シ悪キ故

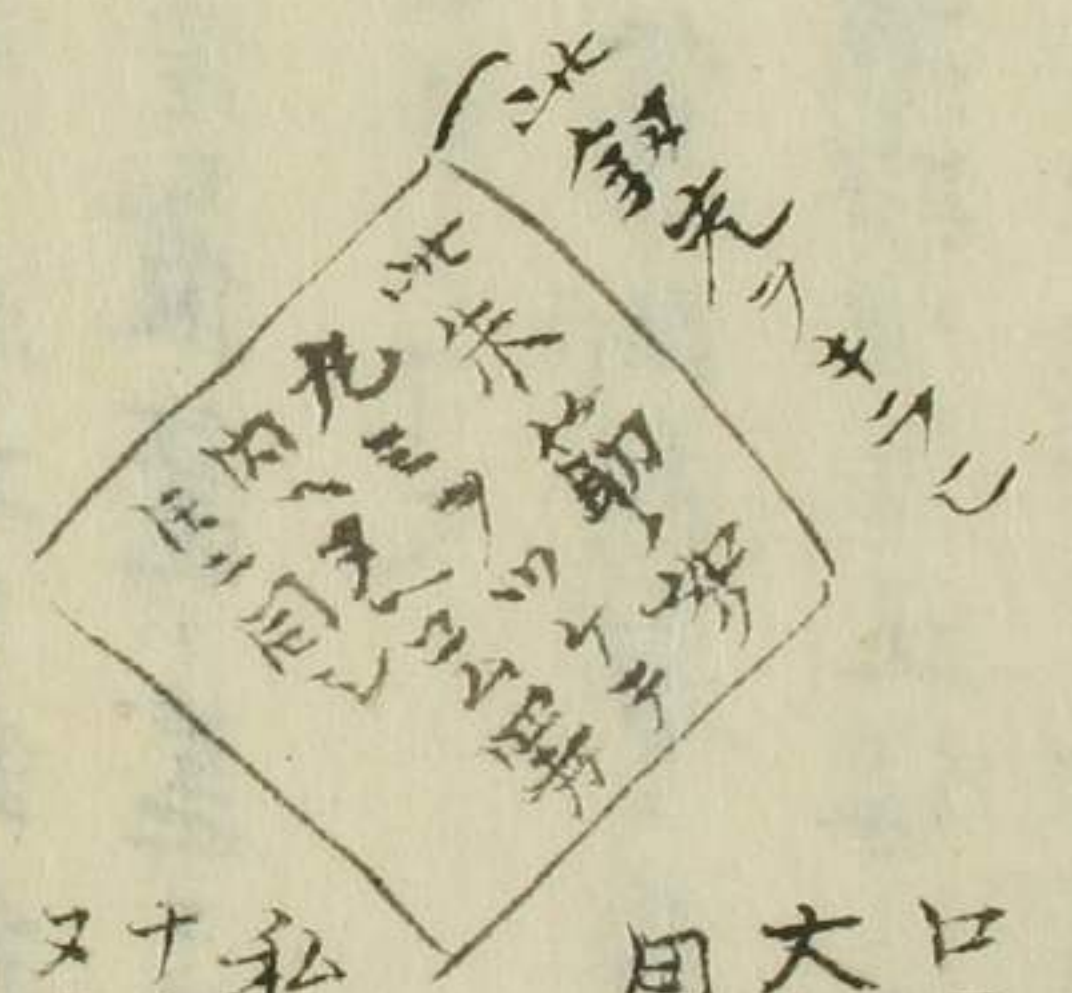
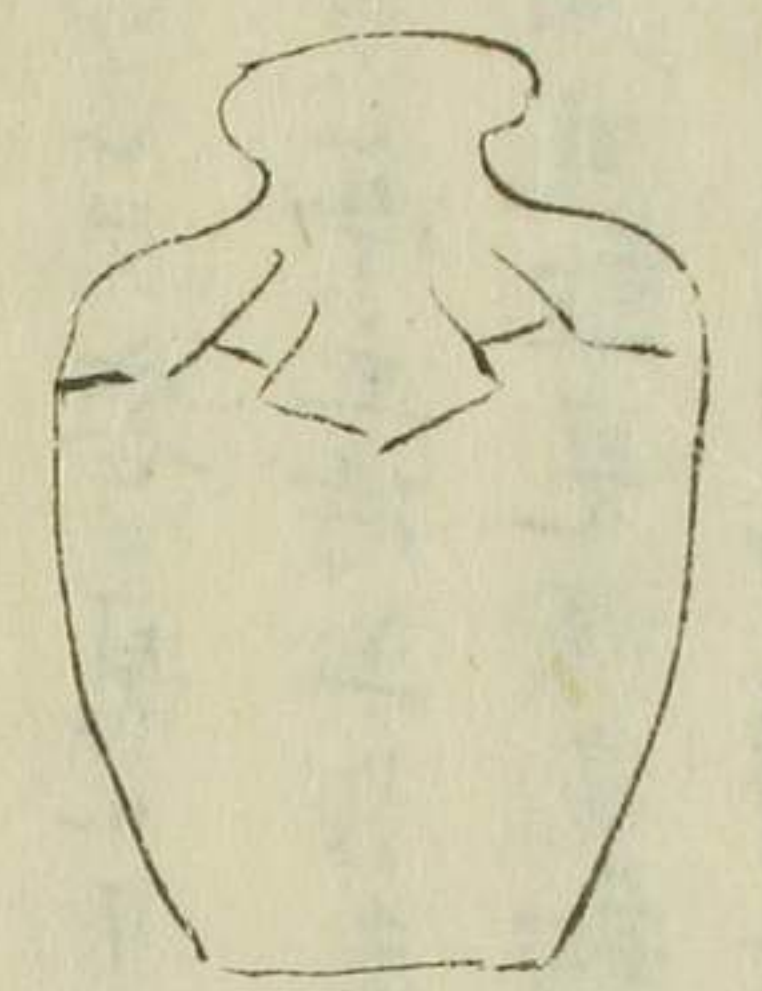


止申儀右切ルニハ三小刀切封一所ヲ残ス印向ト前ト  
 アレハ向ヲ残ス右ヲ切ニ口傳ノ秘事有リ

常ノ小刀ニテハ手ヲ傷ルナリ後世封切ト云小刀  
 出来タリト云右口傳ノ習ヲ以切ト云勞スルナリ

一口覆利休形有

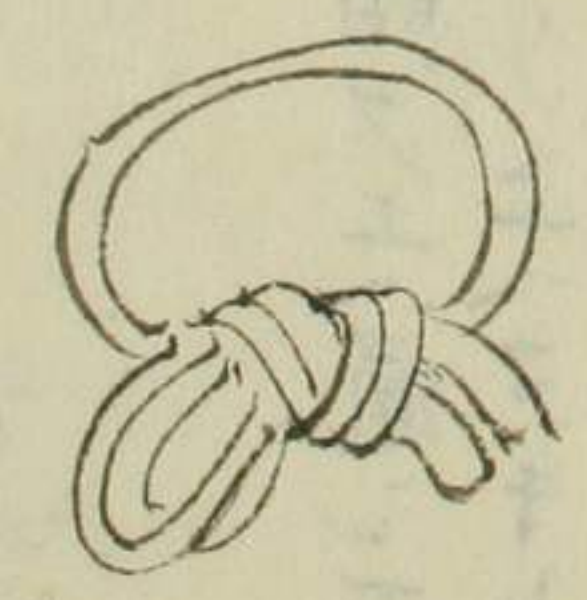
壺口覆  
 ヲ掛名  
 圖



口覆ノ切地色をアリ  
 大和錦夷ヅ錦ノ類  
 用唐錦ヲ用テ勿論  
 ナリ  
 秘曰ヌイコミテハアツク  
 ナリテアツク切テ取リ  
 ヌワテ佳ク

一 取緒ニ重ニ折テ壺ノ口覆ノ上ヲ一重廻レ前ニテ真結  
 ニスル也ワテノ方壺ニ向テ左ノ方ニスル也

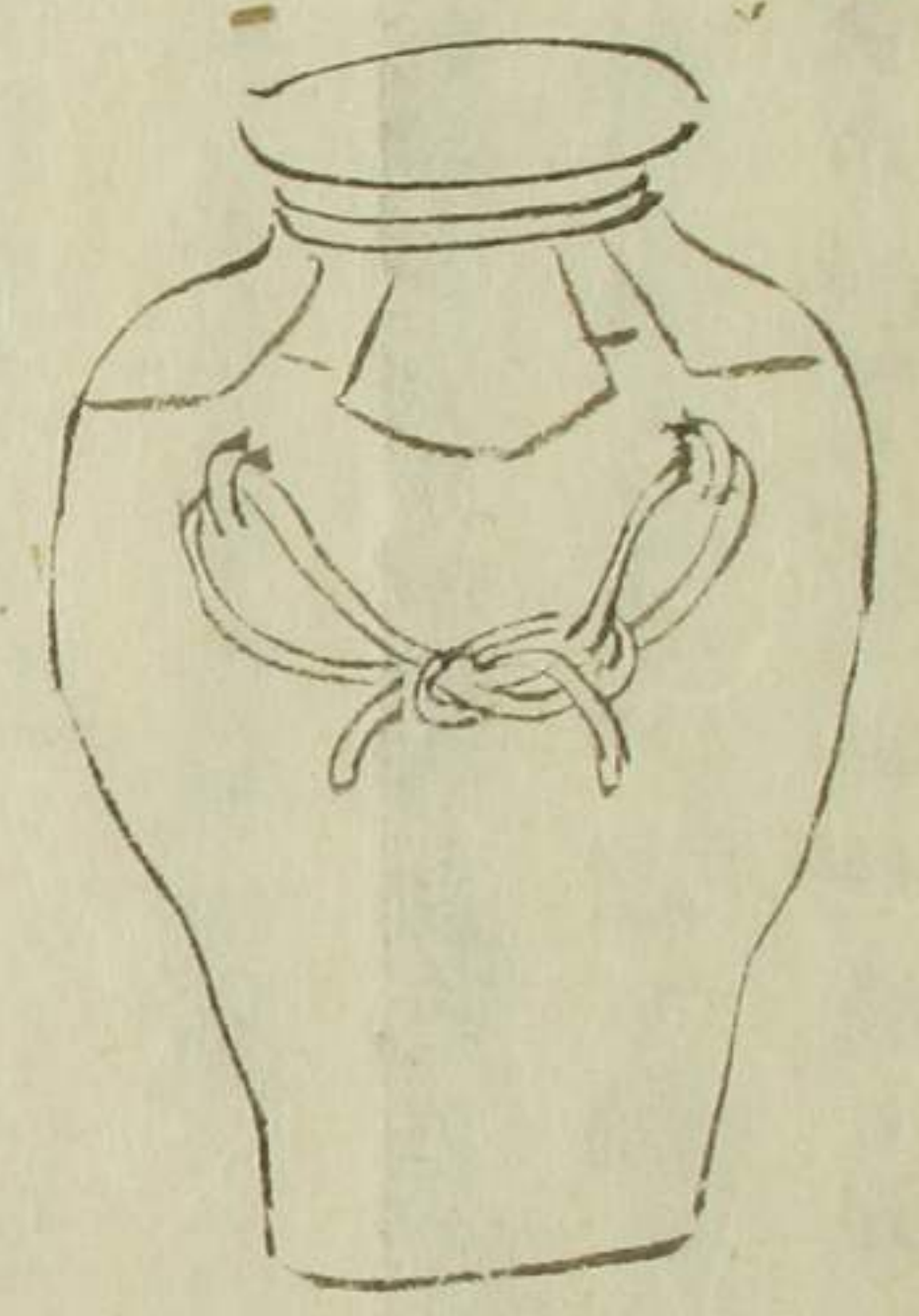
壺口覆ノ  
 取緒ニテ結  
 タル図



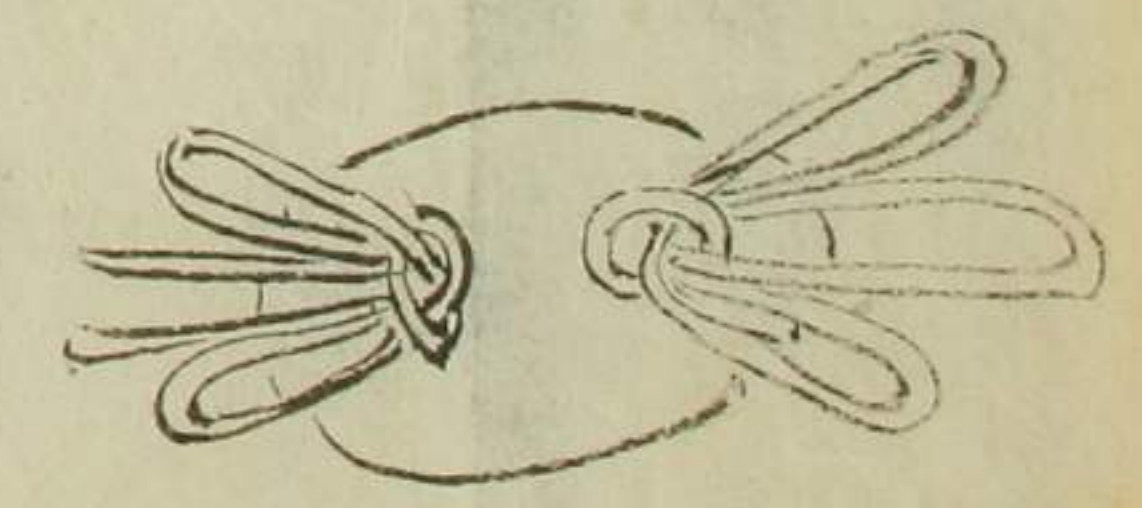
一 封緒又封附匠云此ハ兩ノ乳へ上下通レ口覆ノ正中ニテ  
 合セ封ヲ附ルナリ 祖シ封ノ緒ハ壺ノ景無之ムスヒ  
 下置之壺ヲ容へ見スル片ニモ不取シテ出ス



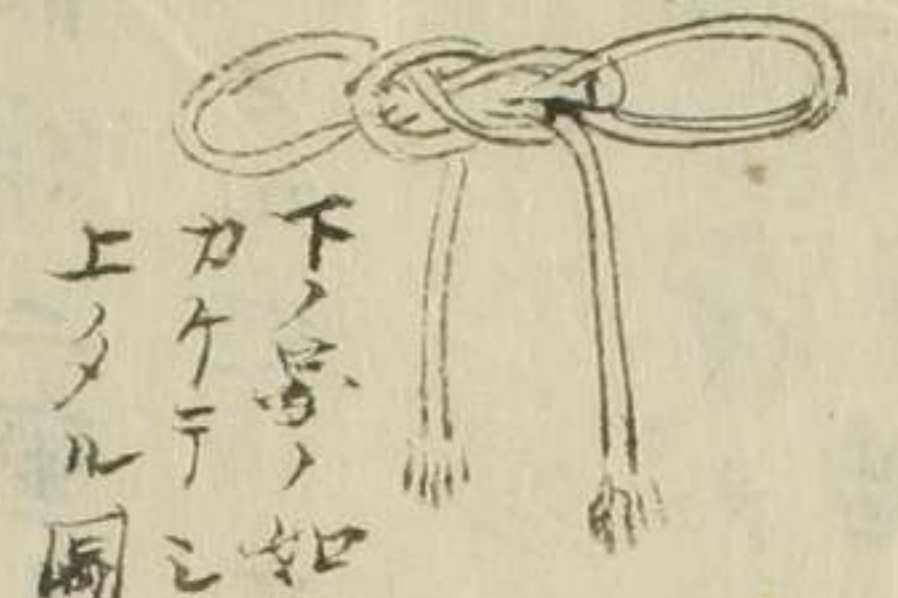
封ノ緒ヲ乳ニ  
附タル圖  
左右  
同シ



封之緒左右  
ヨリ上ヶ壺ノ  
蓋ノ上ニテ封  
ヲ附ルル圖



此封ノ緒ノ結ト取テ六ヶニキク圖ヲ以テ好ミ可考



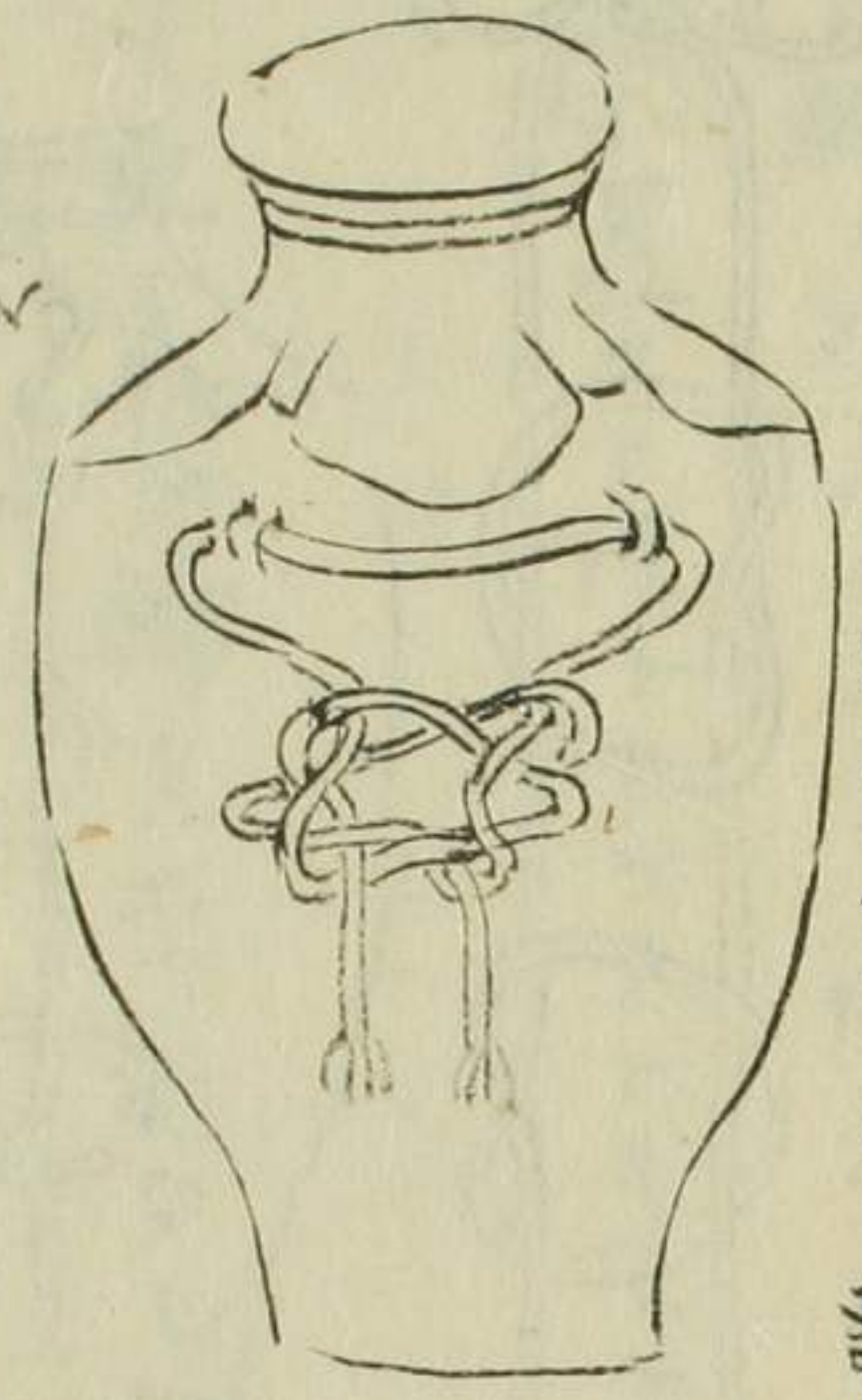
下ノ尾ノ如ク  
カケテシメ  
上タル圖



始ニ此乳ノ下ヨリ緒ヲ上へ通シ左ハ乳ノ  
上ヨリカケ下へ取り上へヲキ出シ圖ノ  
如クニシテ結フナリ

乳緒

乳緒附  
タル圖  
左右同様

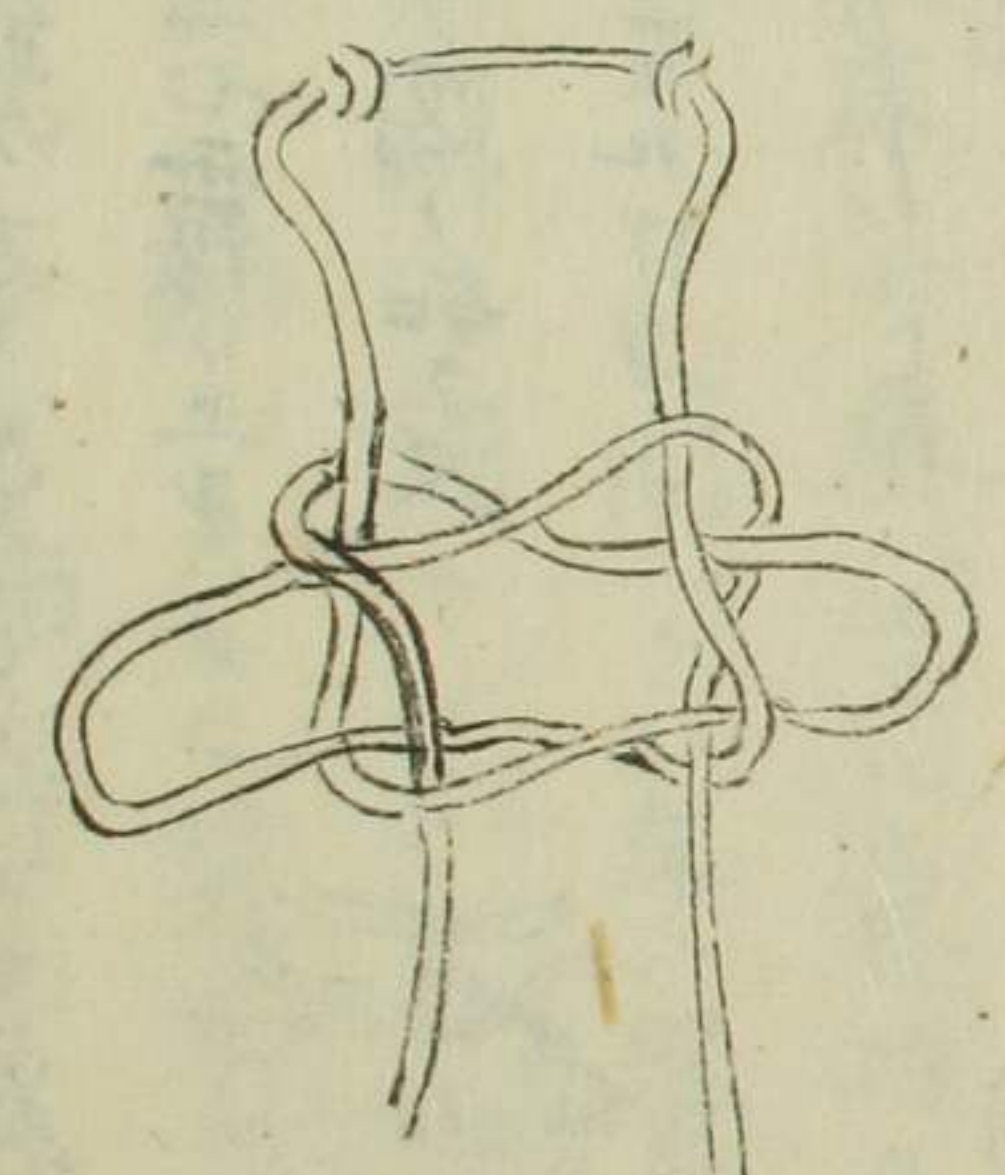


是ハ風帯飾之時ハ長緒ノ必ス乳緒ヲ附ル也

如圖乳ニツへ通シ  
総角結トニスル也



此ノ圖ハ  
乳緒ノ  
結トニスル  
也

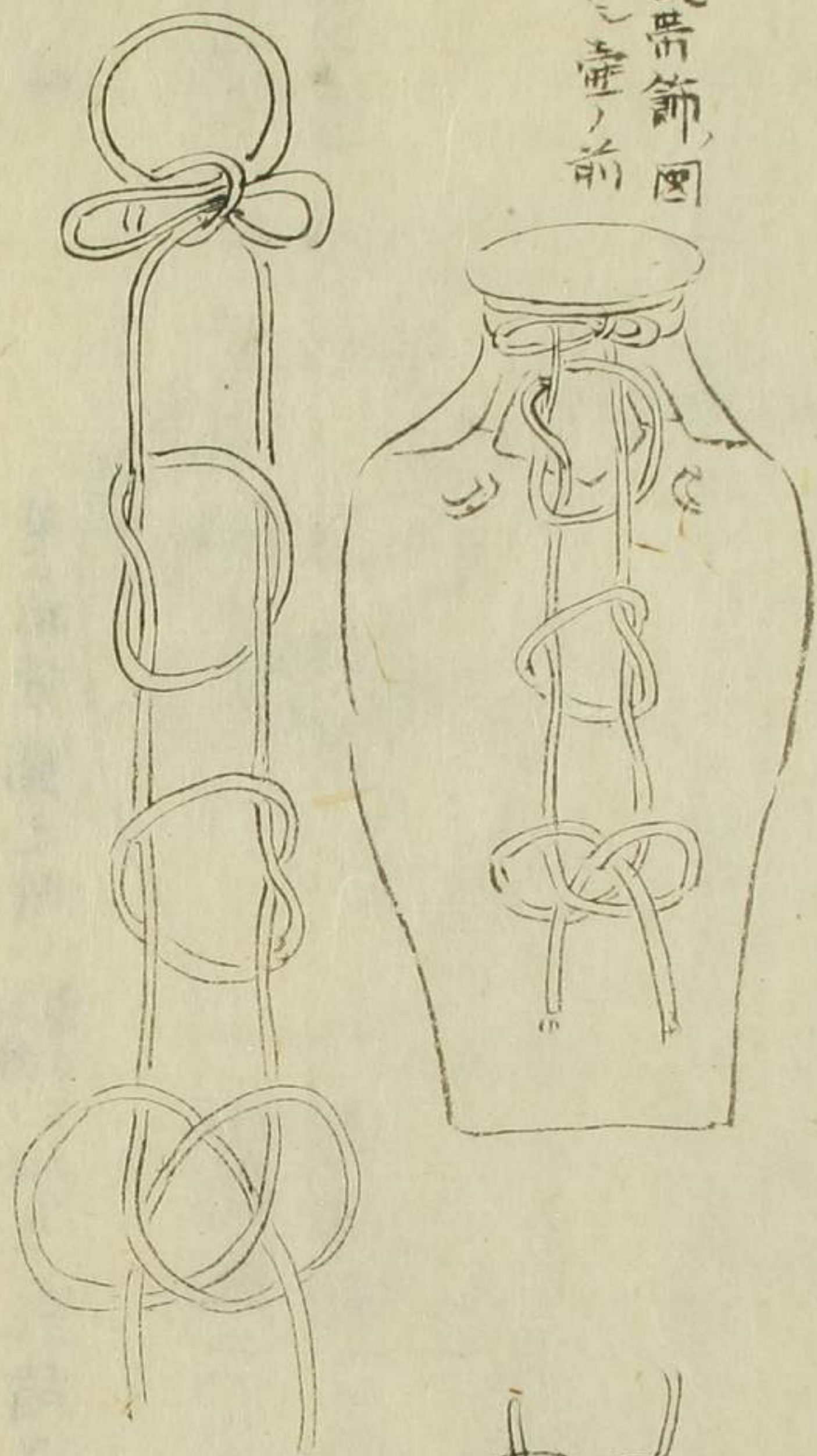


此ノ如ク輪ヲ引  
出シタル圖  
此ノ如ク左右ヲ  
引ヌレハ即総角  
結トニスル



風帯是ハ長緒ノ事セ寸尺緒ノ太リ壺ニヨルヘシ口覆ノ上<sup>壺ノ口ニヨリ</sup>返シノ所也ヨリ  
 二重廻テ真結ニ致シ左右ハ輪ヲ出シ覆ノ上ヲ  
 ムスヒ下リタル緒ニテ輪ヲ左ノ図ノ如ク大  
 中トニツトリ其餘ノ所アワチムスヒニスルナリ

風帯飾ノ図  
 但シ壺ノ前



帯ノアワチ結如此  
 紛ヒメアリニ可見合

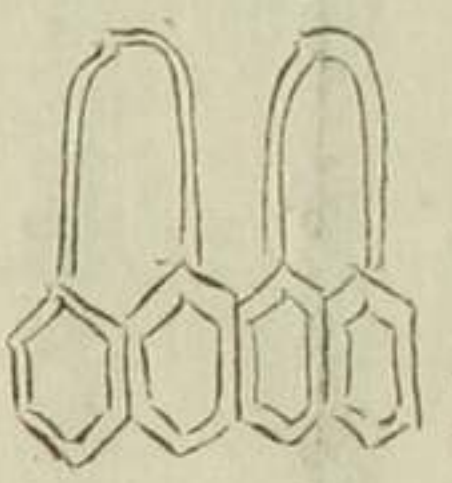
右結ヒタル輪ノ所アワチムスヒノ所トモニツミ無キヨウニ致シ同シ色ノ糸ニテ  
 ワキヨリ閑置コト佳トリヲクトキモ上ヲユルメヌレハ下ニカマワズ懸<sup>ハ</sup>ル  
 自由也

亦上ニ託ス如ク輪ヲニツイタレ飾リノ緒其終ニ下置ト云説  
 アリ要シ

一床ニ壺ヲ飾ルヤ床ノ正中吉板床ハ少奥ヘヨスル意持ヨレ板床ナレハ  
 鋪紙ヲ鋪ト云説有リ古法ニサキトノ同レクハ床ハ置宜床佳ト  
 一教寺屋ニテハ装束ナレニモ床ニ利休飾ラレタルト  
 一書院違棚ノ下ニツミ三ツモ古ハ飾リタルハ装束ヲ替又装束ナレ  
 ニモカナル古法有之也書院ニ壺ヲ飾ル時節カマイナレ



一 壺網へモ入ル細ノ色ハ緋紅紫也スソノ意キ壺ヲ書院ナトニテハ細へ入テ  
 カリル心緒ハ風帯ニテモ取緒ニテモ結ヒ其エヲ細へ納ル也緒両方蓋  
 ノ上ニテ真結ニスル也



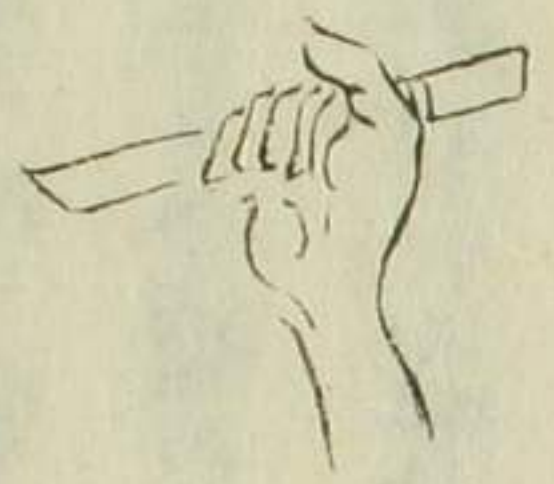
如此口緒ニスル緒ヨリアミ出シ亀甲ニ  
 アミ底ノ取ニテアミトメル

利休ノ目ヲ大キク好シ也 利休所持ノ壺ノ中ニスソノ見ニクキアリ  
 此壺ニ細ヲカケラレシト云

同人云細カケテハ壺ヲ見ル為ニモ悪シ慶ノ附タルモイヤト云シナリ

一 壺ノ口切テ小刀右ノ手ニ握リ向ヒノ真中封印ノ残シ照ノ方ヨリ前へ  
 引切リ又小刀逆手ニ持向テ左ノ方ヨリ前へ引廻シ五六分程残シ  
 小刀取直シ右ノ方ヨリ左ノ切目近切ハナシ蓋ヲ向ハ子蓋ヲ明ル向印  
 所ヲ左右ヨリ五六分残置故蓋ヲケス

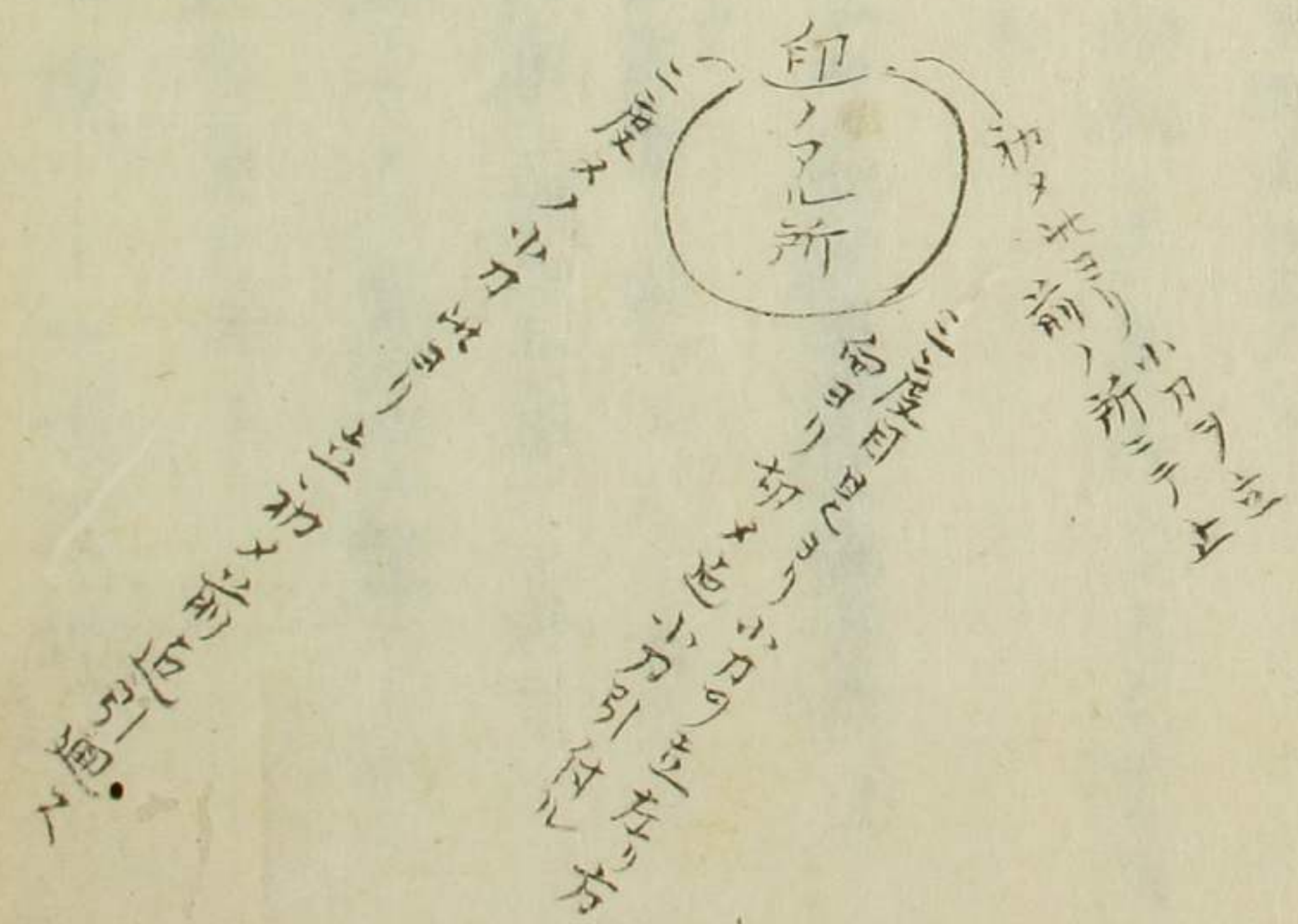
初メ向ヨリ  
 小刀ヲ立此  
 如ク前へ引  
 小刀ツカヘ放



三度目前ノ方  
 切ハケシノ時小刀  
 ツカイヨウ



二度目圧リノ  
 方向ヨリ前へ  
 引切小刀  
 ツカヘヨウ





一 壺之袋三品アリ

真ノ袋 此何ニテモ織物緒ツカリ長緒也亦裏ヲ附ル

行ノ袋 此紗ノ類或ハ高宮布ノ類ニテモ一重袋衣之袋ヲニツ

巾着ノコトク取テ緒ヲ突通シ結也又裏ヲモ附ルクル

シカラズ 高宮ヲニ重ニ仕タルモ有裏ノ附キタルハ口カハリ  
ヲメ長緒ニモスルナリ

草ノ袋 此ハ壺ノ口際マテニ袋ヲ致シツカリ附テ長緒ヲ通結也

一 真行之袋衣ニ入時ハ口覆取緒ナシ

一 草ノ袋ニ入ハ口覆取緒附ル也

壺之品種

一 呂采 国ノ名也  
小国ナリ 此壺ハ真壺ト云 一 青香 則壺青香ト云  
文字印章有 上ニ同シ

一 西湖 地名今ノ  
南京ニアリ 此モ真壺ト云口ヒキクセハキ

一 花真壺 此ハ花ノ形ヲ細ク付タル上ニ草ヲ掛タルモノ

一 蓮花玉 呂采ヨリ  
出ルナリ 此ハ真壺也乳ノ間毎ニ印判ニテ蓮花玉ト云文字有

サホニテ焼付タル也  
近來不用ト云

一 金花真壺 一 松花真壺 一 肩脱真壺 肩ノ所ニ草  
カ、ラズ

一 唐真壺 一 花青香 肩ニ梅ノ  
花アリ

一 雜乱面 島物ト云也亦浮テ  
サテトシタル故ニ云 此ハ必ス乳ニ有

右ハ渡リモノナリ

一 瀬戸藤四郎 此ハ上々ノ賞翫唐物ニ勝レサト云

一 祖母懷 瀬戸金  
ニテ焼 一 信樂 一 履燒 一 丹波燒



一 備前燒 一 煎餅燒

右、我邦ニテ造リ出セル壺ナリ

一 壺之名所 口ノ捨リ返

口ノ際ニ筋有ラロクロト去○乳ノ下ニ山形ノ如クナルヲ筋ヲ遠山ト云○壺ノ中程ヨリ下ニ筋有ラ福野ト云○サホノ流止リテ路ト云

一 乳ハ三ツ有ルアリ此ハ飾ヲ不用口覆取緒ハカリニテ置之四乳アルヲ佳トス乳ノ無壺有利休所持捨子ト名ク乳三ツ一乳ノナキ壺ノ乳緒之結様負昌流ニテ傳受トス

一 壺ハ茶湯ノ藏元ト云古ノ壺ノ上品ヲ吟味メ所持シタルトナリ何種ノ名壺ニテモ茶ノ持惡ケレハ詮ナキ莫ナリ

葉茶壺ヲ利休茶湯ニ座鋪ノク、リノ前ニ飾リ置容ハ五人ノ

傳受ノ弟子ニク、リテラ明ル壺右、如クヲキタル故五人相談ニテ壺ヲ座鋪ノ正中へ直シ座ニ入利休出互ノ礼有テ壺ヲナラス儀如何ニ候得共免角座入不成致如此仕如何致シ好候哉ト尋ル一段成アトシラヒト利休云シ也右五人ハ蒲生飛彈守瀨田掃部牧村兵部細川與一郎古田織部也

右壺飾は桐石見守貞昌 号宗関 君ヨリ松浦肥前守鎮信 号圓惠 又徳祐 君、傳受肥貞君ヨリ野田弥左衛門久忠 号醉翁 傳受也







あせりを入しおのゆをうしよにちかきうをい  
りかきしをいしるる

一表雨笠の時中をいしよのゆをいしよにちかきうをい  
りかきしをいしるる

一表雨笠の時中をいしよのゆをいしよにちかきうをい  
りかきしをいしるる

一表雨笠の時中をいしよのゆをいしよにちかきうをい  
りかきしをいしるる

一表雨笠の時中をいしよのゆをいしよにちかきうをい  
りかきしをいしるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる

一たの表具の可を一文字中上下しるる



一 織物も多し〜 綿 金蘭 天ろ じんも ちや  
ぬはよりくさん 出取くさん ねん人 多し 大名 ぶら  
常の出取 傍あつて 文のあつて

一 表具は 一 時 ちや〜 け 中 次 分 け

一 表具の たり〜 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 さん け〜 ちや ちや 又 一 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 ちや ちや ちや ちや 一 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 一色の表具と〜 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 一色も〜 表具 作る ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 金入 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

くさん ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 紋の ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 紋の ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 友人を〜 表具 一 金 蘭 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 出取 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 友人の表具 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや

一 文の ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや ちや











Table with faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.

又与根一文字と入て表のそのゆゑは是ハ大初らその  
之幅を對す

一書院の三幅對少書院用のハ申す一文字なるの  
表前繪と根申すの中の切と一文字のハ一して  
越へりの中ふしてその切とある根の下段は其なり  
中その表前繪を少ゆりを入り

一二幅を對二つあるはト板ふよるなり

一四幅を對六つあるは但魚尾二幅を對を二段の魚尾  
魚尾なるゆゑたるの二段たるのさへりなり

一六幅を對九つあるは中と申す魚尾二幅

一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す

幅一對ハ其の表を中して有根なるなり

其のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾の  
根を對すとの有根ハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾の

のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾の

一書院のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾のハ一は魚尾の

一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す  
一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す  
一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す

一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す

一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す

一文字也也して口の廻りに用表をいけ時の申す



一文字の  
を備ふ  
一文字  
ハカ  
ハカ

中ハ与根何と申すと申んあゝとていふは付一文字を  
と申すもや一是れいゝ名の根なるを二と申す  
一文字のすれを凡帯不はく申ハ是れを  
あゝと申す申すの是れ申の申すを凡帯に用  
ひり申す

一凡帯をふらふ際すめと近なる際

一凡帯のぬき白ハ一つ田多何ハ花と云ふ

一柱ハ凡帯ハ中ハ表具に付たは後ハ一の表具

一柱ハ一の是れ花と云ハ中ハ酒中是れ花と云ふ

一列候ハ一但凡帯一布何と云ハ付たは後と云

さういふとぬき角と云ふは付たは又中ハ是れハ花と云

一三幅三對をかけた申ハ小半を句と與根ハ花後句時

与根の布のぬきを花と云ふの中ハ小半を句と云ふ

半あるハ花と云ふの時ハ田の海ハ中ハ小半を句と云ふ

二幅一對ハ時花と云ふハ三幅ハ此時ハ是れ後の布を中

に用て句ハ一四幅三對ハ時ハ花と云ふハ二幅

一對ハ一と云ふ同ハ也なり

三幅一對ハ小半ハ波床ハ打事ハ床を句と云ふハ

打ハ又是れを句と云ふハ打ハ一と云ふハ

二幅三對ハ四幅三對ハ何ハ三幅三對ハ打の是れ



凡帯ハ一丈五寸の  
下の寸を情小  
用ハ一丈一  
寸ハ花と世  
除好ハ一丈

中ハ与根同ト申シト云ハルルハ一丈五寸ノ  
上ノ寸ヲ情小ト云フ  
一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ

一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ

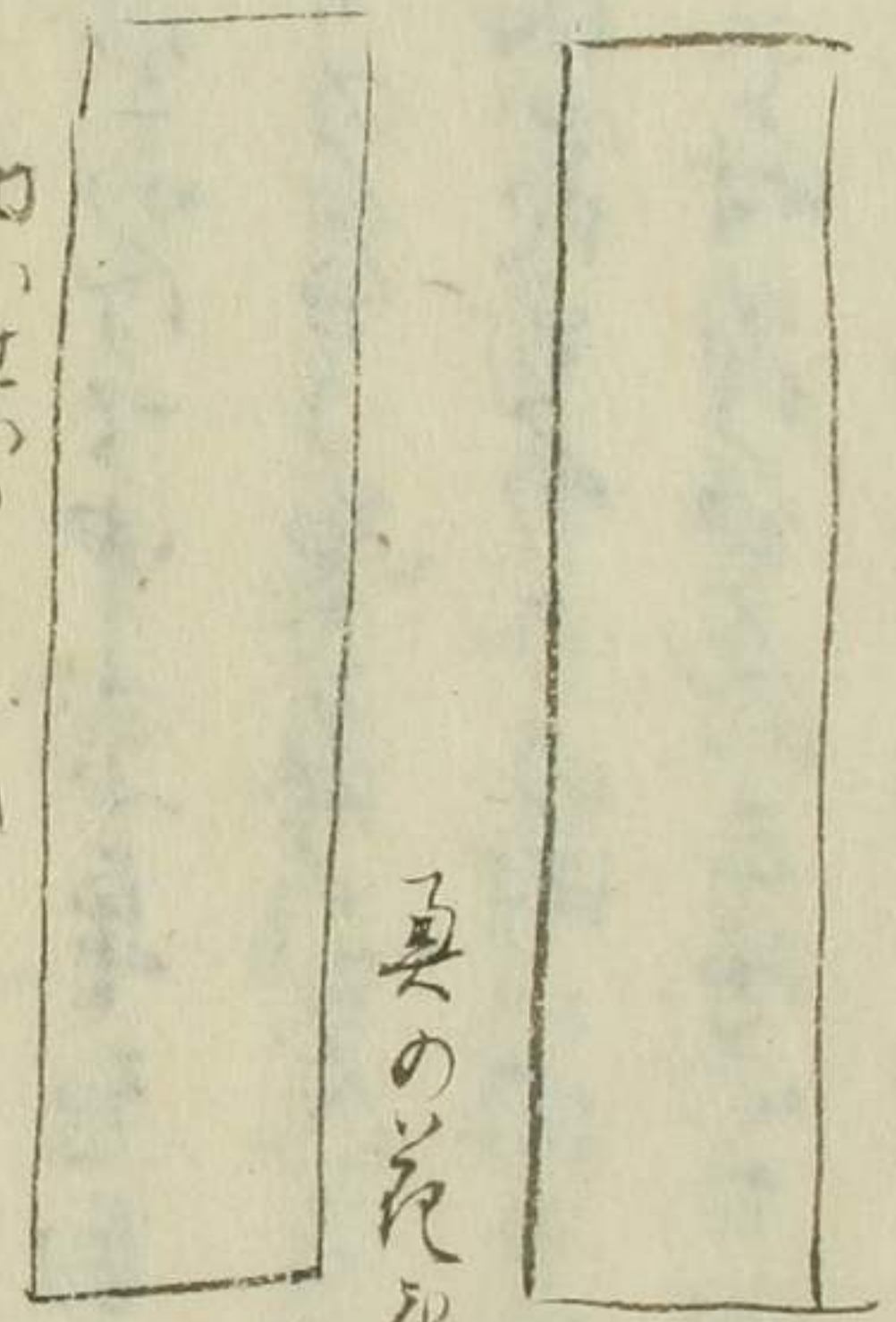
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ  
一 凡帯ハ一丈五寸ノ寸ヲ情小ト云フ



以て床をとりして書院をあらうても打りしよめ  
 互の行に口傳各回一よりして互の行を  
 法有りて見ゆ事ありし時ハめふハセハ  
 まし中へよむ事ありあり

一 袖ハキ一斗一ロ付  
 一 巻板内へ入る

由ハセハ  
 此のりむく  
 梨



真の花中

一升



一斗子

さう

- 一 割字巻 遊輝<sup>ダキ</sup> 筆ス、キ 雲鶴
- 一 相玄法 穂本の韻
- 一 井戸 名物自 青井戸 大井戸
- 一 少ワシニウ 刷毛目井戸 井戸眼
- 一 三鴻 禮負 花三鴻 曆子 骨三鴻
- 一 刷毛目 一粉吹 一合海 一魚屋
- 一 伊藤徳 一燈子
- 一 石坂栄子 西尾栄子 石モリ栄子 長濱栄子
- 一 岩ソリ



一 素伯	一 伶之簾	一 苦麦糰	一 五音
一 熊川	一 玉子子	一 和子	一 白之簾
一 柳川	一 河和丸	一 頭鏡	一 廣之守便
一 御中	一 又ヶ服	一 濃鏡	一 人形子
一 安南	一 南京	一 雲母看	一 雲母
一 松竹梅	一 紀三井古	一 こぼり	一 七花子
一 萬曆	一 虫喰	一 金園子	一 品法
一 綿子	一 天竺	一 ナツ子	一 カラ子
一 タイ宗	一 子子	一 祥瑞	

一 皇廟	一 京形録		
一 青島	一 福康	一 徳	一 天就古
一 鯉の子	一 牡丹子	一 物菓子	一 沉節
一 天月	一 天月	一 天月	一 天月
一 貴天月	一 建盃	一 白天月	一 濃戸天月
一 白菴	一 座屏	一 百サ秋	一 信山柴
一 伊賀	一 光悦	一 一七光悦	一 西宮鏡
一 相子鏡	一 云依鏡	一 八代鏡	一 雲田鏡
一 春山鏡	一 五帝七	一 伊万里	一 津鏡
一 京織鏡			



一 宗長公市尼燒 宗味ノシエ 一入 宗入  
右入 徳入 長入 了入

壺ノ類

大瀬戸	原子	名物子	吾勝子	口兀子
塔の子	夜後	汐物	毎身	文琳
茄子	尻マウラ	河原院	カウチ	南じ
丸壺	丸切	地巻	神尸	常如院



口瓢堂	朔日書堂	夏山書堂	陽春書堂
椿子	金元書堂	善信堂	柳菴書堂
花菴書堂	糸目菴書堂	牝若	
中如子	大學古	思川	龍塚子
小川子	口廣	西取	唐面
石面取	狼子	栲娘子	控髮子
野田	面刺子	桐子	吉柳
追濱子	芋次	芋子	金花山
赤子川	海胤	玉柏子	市場
大津	吉次	洲浪	若浪

二見	白浪	志如堂	玉川
一本	廣次	蛸蟀子	油矢子
河紙	破風	凡子	吉羽
翁	櫻層	男女川	米一
朋々	榎本	内芙蓉	黄茶
茶臼屋	坊子	源千市	山道
利休	利休市場	伊勢書堂	鳴見
織部	宗伯院	藤徳子	新三郎
可意	捨費		



一 國體

高取 高取 河内郡

唐平 紀伊 唐平

志古呂 志古呂 紀後

新解 新解 志古呂電 志古呂電

茂呂 茂呂 志古呂

蓮花王 蓮花王 七ノ口

今利 紀伊 懸心 志古呂

伊賀

伊賀 志古呂

萩 長門

粟田口 山城

樂燒

呂宋

湫戸 尾張

丹波

信樂 信樂

信樂

仁清 山城

小室燒

志古呂

九谷 加賀



